

田んぼオーナー制度 草取り

和良の郷だより

和栗号

和良おこし協議会発行



田んぼの草取りを体験

8月8日(日曜日)、田んぼオーナー制度の草取り体験を開催しました。晴天のもと、みんなで草取りに汗を流しました。



(稲の間の草取りに励む参加者達)

この日は時折風は強く吹くものの晴天に恵まれました。突風でテントが飛んでしまうハプニングがあり、日影が無くなってしまったため、暑さを心配しましたが、時折風が吹いていたことで無事にこの日の作業を

この日は「いそばん」さんの出張販売もありました。相変わらずの人氣で、お持ちいただいたパンはすぐに完売です。お昼「飯の「鮎ごはん」のお弁当も届き、参加者の皆さんは

綺麗になった体験田んぼでした。

終わることができました。外から体験田んぼを眺めると、稗や草などが目立たない様子ですが、田んぼの中に入ると多くの草が見えてきます。オーナーさんたちは滑りやすい田んぼの中を慎重に歩きながら作業を行っていたことができました。1時間半ほどの作業で

青空のもとで食べた、次の目的地の和良川に持って行って食べると話される方もありました。やはり夏のこの時期に、和良川の川遊びを家族で楽しみにされているオーナーさんも多いようです。



(親子で草取り)



(大人気のいそばん)

午後からは希望者は農園に向かい、収穫体験を楽しみます。当初は枝豆を収穫の予定でしたが、どうやら枝豆の実入りがまだのようでしたので、ブルーベリー畑での収穫体験を行いました。畑にはいろいろな品種のブルーベリーが植えてあり、爽やかな酸味のある実や、甘みの強いものなど様々です。参加者の皆さんは一粒つつ食べながら、



(ブルーベリー収穫体験を楽しむ参加者たち)



お気に入りのものを収穫用カッターに入れていきます。低い位置にも実がなっているため、小さな子どもたちも手を伸ばして収穫を楽しむことができました。ただし、収穫用カッターを覗き込むと、紫色の実に交じって青い実がいくつか入っていました。さて、とても暑い一日でしたが、この日は「ファームトラスト制度・企業会員」さんたちの看板を田んぼに掲げることができ、皆さんに見ていただけのようになりまし。国道256号線を進んでいくと和良町中心部に近いところの田んぼにありまして、目にされる方もあるのではないかと思います。

火振り漁

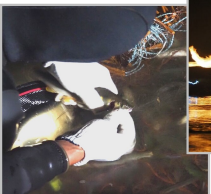
和良川では、伝統漁法のひとつ「火振り漁」が8月11日(水曜日)の夜に解禁されました。

火振り漁とは、川に網を張り巡らせて、暗くなってから火を点けることで驚いた鮎が網にかかるという漁法です。川面にゆらゆらと揺れる炎と、川面に映る灯りがとても幻想的な夏の風物詩です。

今年の網にかかった鮎は大きく丸々と太って、とても美味しそうです。引き上げた網から鮎を外すのは、結構な仕事ですが、網を破らないように、鮎が悪くならないように丁寧に行われます。



(松明の火が振られる様子)



(丁寧に鮎を外す)

東中鮎釣り教室

8月2日(月曜日)、郡上東中学校1年生がふるさと学習の一環で、鮎の友釣り体験を行いました。7月に和良鮎の話や鮎の特性などの座学を経て、この日はよいよ実践編です。

朝の和良川の水温はやや冷たい感じがしましたが、陽が上がると共に水温も上がってきました。それでも足を水につけると、冷たくて心地よく感じました。和良川漁業協同組合大澤克幸組合長の挨拶の後、早速和良川へと向かうと川の中には鮎の大きな群れが見えています。仕掛けを付けておとり鮎を付けると、いよいよ鮎釣りの体験スタートです。1年生9名が川に一列にならんで竿を出しました。

いきなり大きい鮎が掛かって竿が曲がり、釣り上げてみると特大サイズです。なかなか掛からない生徒もありましたが、終わってみると皆が一匹は釣り上げています。3匹掛けて自慢げにしている生徒もありました。特大サイズ3匹を筆頭に全部で14匹を釣り上げ、和良鮎を守る会で買い取っていただきました。

本日の体験から鮎釣りの楽しさを感じてもらえたでしょうか。和良の宝である「和良鮎」を大切に思っ、いっ思い出して欲しいです。



(友釣り体験、買取の様子)

いきもの研究発表

8月21日(土曜日)、「わらおこし」で岐阜大学・向井ゼミの3名の学生さん達による研究発表会を開催いただきました。

まずは椎名真冬さんによる研究。コイ科淡水魚のウシモツゴのミトコンドリアDNAから、岐阜県に存在する集団の系統を調査。現在、ウシモツゴは岐阜県指定希少生物で、さらに水産庁レッドデータブック絶滅危惧種に指定されており、その生息域も局所的で、非公表となっております。

次に上洞孝太さんによる予備実験の結果発表。アメリカザリガニが周辺の水生動物を捕まえやすくするために水草を切る習性があるが、カムルチーというアメリカザリガニの捕食者を投入すると、その活動がより活発になった。向井先生の解説で、これまでの先行研究とは異なる実験結果が出たことが面白かった。

最後に中島廉太郎さんの研究。DNA解析によるタカハヤの系統地理により、河川上流部で行われる河川争奪の有無を調べる研究で、岐阜県内の分水嶺を起点に採取したタカハヤのDNAを調べました。

終了後の懇談会では、郡上市出身の山下さんが長良川におけるナマズとタニガワナマズの固有種と交配種の分布について発表してくださいました。

皆さんの研究はこれから卒論に向けてますます磨かれていくのだらうと思います。それをまたご報告いただけたらと思います。

アメリカザリガニやシャンボタニシなど外来種が貴重な水生昆虫を捕食したり、水生植物を



(発表会会場の様子)



(発表する中島廉太郎さん)

壊滅させるなど実際に水田などで被害がみられます。ナマズの交雑やウシモツゴの交配による環境への影響など、生物多様性の観点からもさらに研究の成果を聞いてみたいと思います。

弾き語りの旅ライブ

8月8日(日曜日)の夜、城領明子さんと清水明日香さんをお迎えしてライブを開催しました。城領明子さんは和良に初登場、清水明日香さんは2度目の登場となります。お二人のやり取りや、ライブの途中に和良はいいところ、住みたくなるとお話されたのが嬉しかったです。台風も近づいており、とても暑い夜でしたが、窓を開けていると気持ちの良い涼しい風が入ってきました。

さて、ライブの様子ですが、城領明子さんのパワーのある音圧に圧倒され、清水明日香さんのアンニュイな雰囲気や透明感のある歌声に圧倒され、会場は最後まで心地よい空気に包まれていました。オリジナルとカバー曲をシャッシーで、ロックで、歌い上げる二人のステージは圧巻です。清水明日香さんがいじられるMCも面白く、お二人の仲の良さや息の合った感じが伝わってきました。



(息のあった歌と演奏)

イベント掲示板

市民協働センター
出張相談会 in 和良

と き：9月27日(月)
午前10時～午後3時
ところ：わらおこし
(下洞554)
相談員：郡上市市民協働
センター
興膳健太センター長

和良町の人口

令和3年8月1日現在

